学びて時に之を習ふ ――「論語」から (2)

『論語』（ろんご）は、今から二千五百年以上前の古代中国の思想家・※**孔子**（こうし）と、その弟子（でし）たちの言行録。孔子は仁や礼にもとづく政治を理想として、諸国に自らの思想を説いて回った。当時の混乱した時代にあってはその考えは受け入れられなかったが、孔子の教えはのちに儒教（じゅきょう）として広まった。

①子曰（しい）はく、「学びて時に之（これ）を習ふ、②亦説（またよろこ）ばしからずや。

言われることには、学んで、機会があるごとに復習する、

朋（とも）遠方より来たる有り、亦楽しからずや。

友が遠方から訪ねてくる、

人知らずして慍（うら）みず、亦君子（くんし）ならずや。」と。

世の人が自分を認めてくれなくても不満をいだかない、なんと徳の高い人格者ではないか。

子曰ハク、「学ビテ而時ニ習レフ之ヲ、不ニ亦説一バシカラ乎や。
有下リ朋自ニよリ遠方一来上タル、不ニ亦楽一シカラ乎。
人不レ知ラシテ而不レ慍ミ、不ニ亦君子一ナラ乎ト。」

（※学而（がくじ））

子曰はく、

③「故（ふる）きを温めて新しきを知れば、以（もっ）て師たるべし。」と。

師となる資格がある。

子曰ハク、
「温メテレ故キヲ而知レバレ新シキヲ、可ニベシト以テ為一たルレ師矣。」

（為政（いせい））

子曰はく、

「学びて思はざれば則（すなわ）ち罔（くら）し。

学ぶだけで自ら考えることがなければ、明確に理解することができない。

思ひて学ばざれば則ち④殆（あやう）し。」と。

自分で考えるだけで学ぶことがなければ、危険である。

子曰ハク、
「学ビテ而不レざレバ思ハ則チ罔シ。思ヒテ而不レレバ学バ則チ殆シト。」

（為政）

子曰はく、

「之を知る者は、之を好む者に⑤如（し）かず。

何かを（詳しく）知っているという人は、（それだけだと）それを好きだという人に

之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」と。

何かを好きだという人は、（それだけだと）それを楽しむ人に

子曰ハク、
「知レル之ヲ者ハ、不レ如ニカ好レム之ヲ者一ニ。
好レム之ヲ者ハ、不レト如ニカ楽レシム之ヲ者一ニ。」

（雍也（ようや））

※孔子…春秋時代の魯の国の思想家で、名は丘。一般に敬称で孔子と呼ばれる。

学而…論語の各篇は、「子曰」を除いた各篇の初めの句から名付けられる。為政・雍也も同様。

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「子」の説明として適当なものを選びなさい。

ア 子どもを表す言葉で、ここでは弟子を指している。
イ 相手を指す語句で、ここでは聞き手を指している。
ウ 男子に対する敬称(けいしょう)で、ここでは孔子を指している。

〔　　〕

(2) ――線②「亦説ばしからずや」の意味を選びなさい。

ア もう一度喜ぶことではない
イ なんとうれしいことではないか
ウ さらに説明が必要である

〔　　〕

(3) ――線③「故きを温めて新しきを知れば」の意味を選びなさい。

ア 昔からの友との旧交を温めて、新しい知人ができるようになれば
イ 過去のことは捨て去ってしまい、より新しいことを知るようにすれば
ウ 古い物事や学問に習熟して、そこから新たな知識が発見できるようになれば

〔　　〕

(4) ――線④「殆し」とあるが、なぜ危険だといっているのか。適当なものを選びなさい。

ア 自分の考えだけに頼(たよ)っていると、独断に陥(おちい)ってしまうから。
イ 人の意見ばかり聞いていると、考えがまとまらないから。
ウ 先人の知識を学んでも、それが正しいとは限らないから。

〔　　〕

(5) ――線⑤「如かず」の意味を選びなさい。

ア 学ばない
イ 従わない
ウ 及(およ)ばない
エ 似ていない

〔　　〕